

第6B(小)分科会 一副校長・教頭の職務内容や職務機能に迫る課題一

提案主題 教職員の学校運営参画意識を高めるための教頭の職務の在り方

司会者	日田市立高瀬小学校	梶原 睦 史
提言者	日田市立有田小学校	森 保 広
助言者	義務教育指導班課長補佐	姫野 悟
記録者	日田市立朝日小学校	飯田 朋 幸

1 協議の柱

- ・職員の学校運営参画意識向上に教頭としての関わり方はどうあるべきか。

2 協議の実際

(1) <提言者に対する質疑>

- ① 教務主任の授業時数はどのくらいか。(堅徳小 川野教頭)

A：20時間 実質は多いと反省している。

- ② 4校が統廃合となった学校でミドルリーダーは育っているのか。また、他の職員の参画意識が弱いのはなぜか。(野津原西部小 佐藤教頭)

A：4校が一緒になったことに対する影響はない。昨年は教頭と教務の仕事内容のすみわけが十分ではなかったため、その点を反省して本年度は取り組んでいる。縦系列の形はできてきたが、三つの専門部会のつながりが明確ではないため、組織としての職員の機能が十分に働いているとは言い難い。

- ③ 三専門部会はどのようにして分けられ、リーダーは部会をうまく機能させることができているか。(原川中 曾我教頭)

A：分掌の内容と専門部の内容を極力一致させるようにして分けているが、部会レベルで見ると複数分掌を担当することから仕事をまたがる職員が出てくる。

(2) <グループ討議およびその内容> (柱：組織の細分化，教員と育友会の関わり)

A班：参画意識を向上させるためには、①組織編成の工夫 ②校長の教務主任に対する関わり ③ミドルリーダーの育成 ④分掌に専念できる場と時間の保障 これらの条件整備を行い、達成感を味わわせ、職員のやる気へとつなぐことが大事。

B班：役割を明確にした組織を先に作り、ミッションを持たせていくことが大切。

育友会組織の働きかけは、PTAにも教員にも積極的な働きかけをすることが大事。

C班：小規模校は、教務主任の仕事を中心に機能させることは難しい。そのためにも運営委員会を企画・運営・審議だけで終わることなく、総括まで行い、次に活かせるようにしていくことが大切である。

3 指導・助言

- ・提言者は数値に基づいての現状把握ができている。それに対して教員は重点目標からどの様な子どもの姿を描いているのか、その姿と数値に対するギャップから、全職員が課題意識を共有して学校経営に参画することが大事である。
- ・校長はビジョンを描き、教頭はそのビジョン達成のために必要なミッションを具体化することが大事である。リーダーに目標を作らせ、その実現に向けてどのような取り組みをすべきか助言したり、その進捗状況を管理したりすることも重要な役割である。
- ・育友会活動については、教師はアドバイザー程度とするなど、保護者がすべきことは保護者にやってもらい、学校評価の一部を担ってもらうことが大事である。